

みりよくネット

通信第2号

令和6年6月4日

山形県教育局義務教育課

令和6年度第1回山形県不登校未然防止連絡協議会

5月7日（火）に第1回山形県不登校未然防止連絡協議会を開催しました。本協議会は、不登校の未然防止を目的とする「居場所づくり」「絆づくり」等の取組みを実施し、不登校の新規数の抑制や早期発見・早期対応による不登校児童生徒数の減少に努めることを目的としたものであります。当日は170名を超える方々に参加いただき、国立教育政策研究所の高橋典久総括研究官のご講演をお聴きし、未然防止への理解を深めることができました。

今後、各学校では不登校の未然防止に係る取組みを実施し、その実践をもとに、8月8日（木）に開催する第2回連絡協議会において意見交換等を行う予定です。それぞれの学校が目目の児童生徒に応じた取組みを実施し、児童生徒が生き生きと生活できる魅力ある学校であり続けることを期待しています。

講演「不登校の未然防止に向けて～授業改善を軸に、魅力ある学校づくりのために教職員がすべきこと～」国立教育政策研究所高橋典久総括研究官の講演から

生徒指導の「目的」の変化

平成版
生徒指導は、児童生徒一人一人の人格を尊重し、**個性の伸長**を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指す。

改訂版
生徒指導は、児童生徒一人一人の**個性の発見とよさや可能性の伸長**と社会的資質・能力の発達を支えると同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支えることを目的とする。
『生徒指導要領』P.13

✓ 個性の伸長＝個性の発見とよさや可能性の伸長
個性＝「強ところ・長所」だけでなく「弱ところ」「育ちつつあるところ」も含む

▶ **多様性を認め合う社会の形成**

© Norihisa TAKAHASHI National Institute for Educational Policy Research, Guidance & Counseling Research Center

- ・日々の学校生活で、**「本当の自分らしさ」**を発揮できているか？
- ・**「みんな違うからこそいい」**を体験する学校に！
- ・「させる」生徒指導から**「支える」**生徒指導への転換

- ・学校魅力の追求、特に**「学校でしか提供できない魅力」**は何か
- ・これまでの**「当たり前を問い直す姿勢」**が重要
- ・今までしていた学習活動が「生徒指導でもあることを**意識して、意図的に**組み込む」ことが大切
- ・隠れ（静かな）学級崩壊の増加（子どもたちが、自ら学ぼうとしていない、夢中になって学んでいない、そのことに教師が気づいていない）
- ・**温かいまなざし、声かけ、ふるまい等**の積み重ねで日々の授業が変わる
- ・令和5年11月17日付け文部科学省通知「不登校の児童生徒等への支援の充実について」の別紙に示されているように、**学校教育の役割は極めて大きく**、学校教育の一層の充実を図るための取組が重要！
- ・学校というタンクから水がもれ続けられないように蛇口を絞る取組（未然防止）が必要

児童生徒も先生方も笑顔あふれる魅力ある学校を！